

グループインタビュー

－ 目 次 －

1. 高齢者を対象としたグループミーティング	1
1.1 開催概要	1
1.2 開催結果	1
2. 子育て世代を対象としたグループミーティング	3
2.1 開催概要	3
2.2 開催結果	3

1. 高齢者を対象としたグループミーティング

1.1 開催概要

調査対象	65 歳以上の高齢者(老人クラブ代表者)
開催日時	平成 28 年 9 月 15 日(木) 14:00～
開催場所	潮来市津知公民館
参加者	6 名

1.2 開催結果

主な意見	●現在の公共交通の利用状況や利用方法 ・現在は、自分で運転ができるので公共交通を利用することはない。 ・鹿嶋市、潮来市、行方市の 3 市で運行している広域連携バスについては、運行していることは知っているが利用したことはない。 ・広域連携バスについては、詳細な説明を受けたことがないので、バス停、運賃、運行ルート等を知らない人が多いと思う。 ●公共交通が不十分なことで困っている移動 ・潮来市から行方市(行方地域医療センター)に行きたい人も多いが、不便である。 ・現在は、自分で車の運転ができるので公共交通を利用することはないが、この先、運転ができなくなったら公共交通を利用することになると思う。 ・高齢者の移動目的は、医療、買物(食料品等)が主なものであり、自分で運転できなくなった場合には、公共交通を利用する可能性もある。何でも採算が合わないから、すぐに運行を中止するという考え方はよくないと思う。 ●公共交通利用に変えて頂くためのサービス ・現在は、公共交通に関する周知が図られていないように感じる。広域連携バスにしても、運行当初にチラシの配布はあったが、その後の案内はない。試乗会を行い、一度、体験してもらい口コミで広げていくのが良いのではないか。 ・周知にあたっては、潮来市 66 区の区長を通して行うほうが効果は出ると思う。回覧板でチラシを回しても、他のチラシに紛れてしまい、目につかなくなる恐れがある。 ・広域連携バスと鉄道の時間があっていないので、鉄道会社と調整すべきである。 ・自宅からバス停までの距離が 500m 程度であれば歩くと思う。 ・主要な医療機関では、既に送迎バスを運行している。そういった状況の中で新たな路線バスを計画しようとしているのだから、周知徹底を図るべきだと思う。 ・広域連携バスで鹿島大野駅まで行き、そこから水戸へ観光するようなツアーを企画してはどうか。 ・「潮来市悠々塾」の生徒を対象に広域連携バスの利用をお願いしてはどうか。
------	---

主な意見	●その他 ・ 潮来市は観光地なのに案内看板が少ない。 ・ 潮来市内には雑草が目立つ場所もあり、観光地としてふさわしくないと思う。 ・ 潮来有料道路の沿道に規制がかかっており、開発できないのが問題である。
開催状況	

2. 子育て世代を対象としたグループミーティング

2.1 開催概要

調査対象	子育て世代の保護者
開催日時	平成 28 年 9 月 30 日(金) 19:00～
開催場所	潮来市中央公民館
参加者	6 名

2.2 開催結果

主な意見	●現在の公共交通の利用状況や利用方法 ・自分で車が運転できるので公共交通を利用しない。 ・子供が鹿島神宮駅～潮来駅間を毎日利用しているが Suica が利用できないのが不便と言っている。 ・中学生の子供がパルナの無料送迎バスをよく利用している。他のバスについては、時間が合わないなどの理由で利用していない。パルナの無料送迎バスを利用する際は、潮来駅まで行って乗車している。 ・住んでいる地域を運行しているのがパルナの無料送迎バスのみであり、小学生の子供がパルナの無料送迎バスをよく利用している。中学生もよく使っているのを見かける。また、パルナの無料送迎バスで潮来バスターミナルまで行って、そこから高速バスに乗り換えてディズニーランドに行っているような話も聞いている。 ●公共交通が不十分なことで困っている移動 ・子供を潮来駅まで毎日送迎しているが、他の交通手段がないため、負担だと感じたことはない。 ・放課後に塾へ行く際に自家用車で送迎しているが、塾の終わりの時間になると送迎する車が込み合って、近隣の人に迷惑をかけているのではないかと思う。 ・市内の本屋の数が少ないため、子供が本を買いたい場合はララルーまで送迎しており、バスが運行していれば便利だなと思うことがある。 ・距離が遠かったり、防犯上のことを考えてバイト先にも送迎している。 ・昔は、部活の試合などは路線バスを利用していたが、現在は、試合の度に親が送迎しなくてはならないので大変である。 ・送迎のために、仕事を休まないといけなことがあり負担に感じるが、防犯上のことを考えて送迎している部分もある。 ・夫婦共働きのため、祖母が子供の送迎をしてくれているが、祖母がいなかったら大変だと思う。 ・子供が 2 人いて、予定が重なった場合はどちらかを早めに送るなどの調整をしている。 ●公共交通利用に変えて頂くためのサービス ・家から歩いて 10 分ぐらいの距離にバス停があれば、子供にも利用を勧めらと思う。 ・小学生、高齢者が路線バスを利用するのであれば、家から 300m ぐらいの距離にバス停があればよいと思う。 ・路線バスの運行時間帯は、6 時～20 時ぐらいがよいと思う。以前に運行されていた路線バスも同様の時間帯だったと思う。
------	--

主な意見	・ 学生も 6 時～20 時ぐらいの運行時間帯であれば路線バスを利用できるのではないかな。 ・ 路線バスの時間と鉄道駅の時間を併せることが必要である。 ・ 潮来駅での乗り継ぎを考えると、鉄道の運行時間に併せて一時間に一本ぐらいは必要だと思う。 ・ 路線バスは、30 分に一本運行していると便利だと思う。 ・ 路線バスについては、運行本数や運行時間よりも運行路線によって利用するかどうかを考えるとと思う。 ・ 市内の拠点を循環するバスが便利だと思う。 ・ 小型のバスにすればコストも安く済むのではないかな。 ・ 料金は均一性の方がよい ・ 現在、運行されている広域連携バスは、全線利用すると 800 円であり、鉄道と比べても割高だと思う。 ・ デマンドバスは予約するのが面倒なので自分は使わない(使っているイメージがつかない)が高齢者にとってはよいのではないかな。 ・ デマンドバスは、周知徹底を図れば高齢者は利用するのではないかな。 ・ 観光資源となるようなバス(2 階建バス等)を運行してはどうか。 ・ ワゴンタイプのバスは、高齢者専用というイメージがあり、利用してよいのか迷ってしまう場合もある。また、隣の乗客との距離が近すぎて抵抗がある。 ●その他 ・ 自分の親が高齢になり自分で運転ができなくなった場合には、危険なので一人で公共交通には乗せないと思う。 ・ 公共交通は、子供が社会性を身に着ける場でもあると思う、 ・ 子供が路線バスに乗って、不特定多数の方と一緒にすることは、特に気にならない。(自分が子供の頃は当然だったので) ・ 直通バス(スクールバス等)は、途中で降りることができず回遊ができないため、町の発展に繋がらない。 ・ 路線バスが運行されることによって、新たな人の流れができて駅周辺の活性化等にも繋がるのではないかな。
開催状況	